

【研究課題】

患者のメンタル不調に気づくための医療保健関係者向け教育プログラムの作成

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

東京大学相談支援研究開発センター大島紀人

【研究期間】

2020年7月～2026年3月

【研究の意義と目的】

精神疾患は思春期、青年期に発症しやすく、その早期発見・対処が重要ですが、精神疾患には気づかれにくい特徴があります。一方で、観察や不調を察知する力は看護師や養護教諭が身につける技術であり、その経験知を共有してスキル向上のための教育プログラムを作成することが本研究の目的です。

【研究の方法】

この研究は、東京大学ライフサイエンス倫理委員会の承認（審査番号 21-65）を受け、東京大学相談支援研究開発センター長の許可を受けて実施するものです。

- ・精神科看護師、その他の看護職、学校保健関係者を対象にアンケート調査を実施します
- ・アンケートでは、プロフィール（性別、年代、職務経験等）、精神的な不調に気づく要因、プログラムの理解度、満足度等についてお尋ねします
- ・回答結果は他の方の回答と集計し、それをもとに教育用資料を作成します

【研究における倫理的配慮（インフォームドコンセント、個人情報保護、資料の取扱等）】

各種法令や、東京大学の個人情報等に関する取扱規則等にもとづき、個人の不利益とならないよう、収集した情報は慎重に取り扱います。本研究では、個人が識別される情報を収集せず、回答後のデータ破棄ができませんのでご理解ください。研究の成果は学会や論文誌等で発表する予定です。データは厳重な管理のもと、研究終了後10年間保存されます。

【研究参加への同意と利益・不利益】

この研究へご協力いただける場合のみご参加ください。ご協力いただけない場合も不利益になるようなことは一切ございません。

【問い合わせ先・連絡先】

住 所 : 〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学相談支援研究開発センター 大島紀人

T E L : 03-5841-2578